

ALPS 処理水希釈放出設備 現地確認結果 報告書(概要)

| | | | |
|-------|--|--|---|
| 確認年月日 | 令和 4 年 9 月 21 日 (水) | 確認目的 | 工事の進捗、安全対策等 |
| 確認箇所 | 5・6号機敷地護岸ヤード、K4タンクエリア | | |
| 確認設備 | <input checked="" type="checkbox"/> 測定・確認用設備 | <input type="checkbox"/> 移送設備 | <input checked="" type="checkbox"/> 希釈設備 <input type="checkbox"/> その他 |
| 確認結果 | <p>測定・確認用設備の一部である循環配管、希釈放出設備の一部である立坑（上流水槽）及び放水トンネルの設置工事が行われていることから状況を確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 放水トンネル内にはこれまでトンネル外に仮設されていた機器等が台車で運び込まれており、本格稼働に向けた機器の調整が進められていた。（写真1） ・ 放水立坑（上流水槽）西側の配管設置予定箇所の試掘範囲では、敷き均しの準備が進められていた。（写真2） ・ K4タンクエリアでは、ALPS処理水希釈放出に関連する設備として、処理水の循環、受け入れ、払い出し等に使用される配管と配管を支持するサポート（土台）の設置が進捗していた。（写真3） | | |
| |  |  | |
| | (写真1-1) トンネル内に搬入された機器の状況 | (写真1-2) トンネル内へ機器を搬入する準備の状況 | |
| |  |  | |
| | (写真2) 均し作業準備のため 鉄板を移送している状況 | (写真3) 配管の設置状況 | |
| | <p>【東京電力からの聴取内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シールドマシンによる放水トンネルの掘進は 98m地点まで完了した。これまでは立坑下部にジャッキを設置し、立坑の壁を利用して仮セグメントやセグメントを固定し、シールドマシンを押し込んでいたが、今後はトンネル奥に設置したセグメントの抵抗により掘進することが可能となるため、立坑下部に設置していた仮設のセグメント等は撤去した。 ・ 現在はトンネル外にある仮設機器等をトンネル内に運び込み、本設のための準備を行っている関係上、掘進を停止している。作業は2週間程度で完了する見通し。 | | |